

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

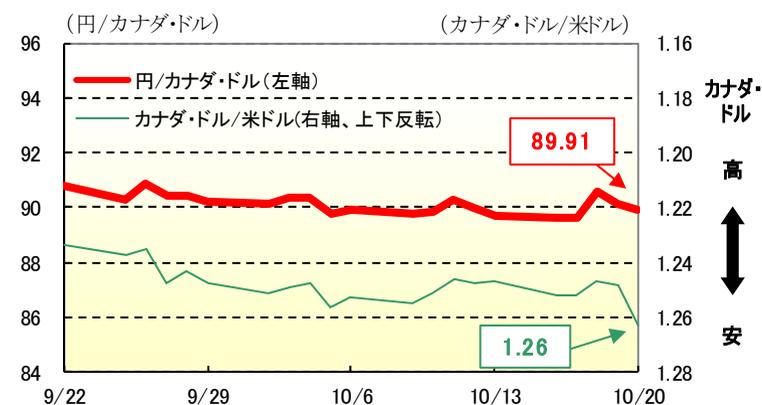
【2017年10月14日～2017年10月20日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円はほぼ横ばいで推移し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は、カナダでCPI(消費者物価指数)や小売売上高が発表されましたが、どちらも市場の予想を下回る結果であったことが、金利低下やカナダ・ドル円の下落圧力となりました。一方で、米国の上院で2018年度予算決議案が可決されたことを受けて米国金利が上昇したことが、カナダの金利やカナダ・ドル円の上昇圧力となりました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年9月22日～2017年10月20日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

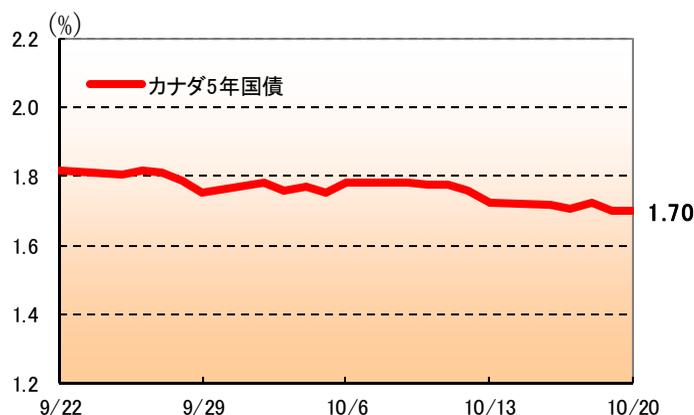
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週は、カナダで政策金利の発表があります。今回は政策金利の据え置きが予想されていますが、経済が堅調に推移しているカナダでは将来的な利上げ期待から金利やカナダ・ドル円が下支えされるとみられています。

また、足元では北朝鮮情勢が落ち着いている中、日本株や米国株などが堅調に推移しており、市場のリスク回避的な姿勢が後退していることが、円安圧力になるとみられています。

### 【カナダ 金利推移】 (2017年9月22日～2017年10月20日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>